

一般社団法人内外情勢調査会

会報誌

2017年(平成29年)
6月25日発行(毎月1回25日発行)
第11巻第4号(通巻124号)

July 2017
Vol.124

7

J²TOP
The Research Institute of Japan

■内外情勢調査会 全国懇談会【講演抄録】

経済・物価見通しと
金融政策運営

黒田東彦 日本銀行総裁

■内外情勢調査会 宮城支部懇談会【講演抄録】

現役復帰するまでと
2020年東京パラリンピックへの道のり

鈴木亜弥子 パラバドミントン選手

■会員登場

ムライケミカルパック株式会社
[久留米支部]

温暖化対策と省エネに寄与する特殊塗料の開発から製造・施工まで一貫して取り組む

ムライケミカルパック株式会社 「久留米支部」

画期的な環境対応塗料を開発



耐用年数も一般的な塗料の倍というケミカルパック



ムライケミカルパック社長の村井正隆氏

◎文／本誌編集部 ◎撮影／森圭一

今年4月、創業50周年を迎えたムライケミカルパック株式会社は、福岡県久留米市に本社を構える特殊塗料メーカー。老朽化した屋根や外壁の再生などに使用する塗料「ケミカルカチオンパック工法」で、全国的にもその知名度が高く、テレビ東京の人気報道番組「ワールドビジネスサテライト」をはじめ、さまざまなメディアで取り上げられることも多い環境適応型の企業である。

なぜ、同社の技術が取り上げられるのか。その理由は、商品力および技術力もさることながら、取引先の多くが東証一部上場の優良企業であることだ。これまでに同社が施工した企業は、サッシメーカーから鉄道、工作機械、食品メーカー、学校と幅広い。

「われわれの技術は業種職種を問わず、あらゆるところでお役に立てるのが強みです」と話すのは、ムライケミカルパック株式会社代表取締役社長の村井正隆氏。

主力製品である「ケミカルカチオンパック」は、高い断熱効果を持つ三層構造のアクリル系特殊塗料である。もともとは老朽化したスレート屋根の復元強化保護塗料として開発された製品だったが、夏季に室内温度が下がったという施工先からの声が多く寄せられるようになった。そして、三層構造の中間層である「ケミカルカチオン主材」に無数の微小独立気泡が存在し、太陽光から吸収した熱の伝導

を抑制する働きがあることが分かった。これが高い断熱効果をもたらしていたのである。

「ケミカルカチオンパック工法を施工した物件で検証したところ、工場や屋根の表面温度は23度低下し、そのことで室内平均温度が4度下がりました」と村井氏は教えてくれた。



ケミカルカチオンパックの三層構造。中間層が断熱のポイント

本社敷地内に展示されたケミカルカチオンパックを塗布したものの（右）、未塗布のもの（中）



独自に開発された、この特殊塗料は工場や学校、アパートはもちろん、最近では、電車の屋根、通信事業者の基地局や電力会社の送電鉄塔にも採用されるなど、多数の施工実績を誇るほどになった。

「地球温暖化や温室効果ガスなどの環境問題について、実は20年前から注目し研究を重ね、納得のいく塗料が完成するまで、およそ6年を費やしました」と村井氏が語るように、その長年の努力が今日の卓越した技術力の礎となっている。

また、塗料自体の耐久性も高く、飛散すると深刻な健康被害をもたらす有害なアスベストが含まれているスレート屋根に塗布することで、アスベスト飛散防止にも成功した。

製造から施工まで請け負う一貫システム

ムライケミカルパック株式会社は、一般的な塗料メーカーが開発・製造だけを行うのに対し、施工まで自社で一貫して請け負っている。塗料メーカーとしては、いたって珍しい形態での事業展開も注目を集めている。

「ケミカルカチオンパック工法の断熱機能を最大限に生かすには、正確な施工技術が必要」と村井氏が話すよう

に、同社には専門の職人を多数擁し、大規模設備の施工にも対応できる体制を整えている。これこそが自社の製品に揺るぎない自信を持ち、もともと理解しているからこそできる管理体制であり、万一のトラブルに対しても責任の所在を明確にすることで施工主に安心感を与えている。

「50年間、事業を継続できましたが、それで決して完璧というわけではありません。会社が生き残るためには、世の中が求めているものを送り続けることが必要で、それが会社の役割」とも語る。その一例が現場の声をくみ取ることだ。例えば、猛暑が続けば、工場内で働く作業員を苦しめる。そうした思いをくみ取り、室内温度を下げる効果のある塗料の重要性をアピールするのである。

今までもこの手の環境塗料は数多く存在していたというが、同社の画期的な環境塗料が注目を浴びることで、品質の良くない塗料は淘汰されていった。その結果、施工した企業が、また違う企業に薦めるといった口コミでのネットワークが広がり、その存在感は日に日に高まっている。

村井氏が社長に就任したのは、1971年。苦しい時期を幾度も経験してきたという。それでも「世の中が認めるもの、必要なものを送り出し、

世の中とお客さまの役に立つのがビジネス」という考えを守り続けてきた。さらに75年の福岡県日韓親善協会の発足から、同協会を陰ながら支え続けている。2008年には福岡市と釜山直轄市の姉妹都市実現に向けて尽力したことから大韓民国より民間では3人目となる名誉ある叙勲（修交崇禮章）を受章した。

今夏も日本列島は連日、酷暑に見舞われることだろう。こうした中、省エネ効果のある塗料で、国内外からさらなる注目を集めるムライケミカルパックは、社会に貢献する環境適応型の企業の代表格と言えるだろう。



ムライケミカルパック株式会社

〒830-0053
福岡県久留米市藤山町696-5
TEL: 0942-21-7667(代)
代表取締役社長：村井正隆
資本金：2億9300万円
設立：1967年4月20日
事業内容：①合成樹脂系特殊塗料製造、販売、施工その他これに附帯する一切の業務②ケミカルカチオンパック工法（下地強化、反射・断熱・防錆・化粧塗材）③アスベスト粉じん飛散防止処理工事（ケミカルASR工法）④ダイオキシン除染工事⑤抗菌塗料販売・施工⑥建設業の種類塗装、防水、建築、土木、鋼構造、とび・土工、解体